



2022年5月26日

大阪公立大学

現職の理学療法士、作業療法士の実践力アップに

**履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」10期生募集
～地域包括ケアシステムに対応する医療専門人材を育成～**

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科は、現職の理学療法士・作業療法士を対象に、履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」10期生（2022年10月開講）の募集を開始します。

<本コースのポイント>

- ◎公衆衛生的な思考・知識の修得や、在宅リハビリテーション技術・知識の補完をめざし、在宅ケアで求められる実践指導能力を培う
- ◎働きながらでも受講しやすいeラーニング講義がメイン（スクーリングも実施）
- ◎厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」対象講座で、一定の条件を満たせば受講費用の最大70%の給付あり
- ◎作業療法士の職能団体による生涯学習プログラムとの互換性を有し、履修証明書は認定作業療法士および専門作業療法士の基礎ポイント（10ポイント）と認定可

本プログラムは2015年度秋より文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の一環としてプログラムが始まったもので、これまで9期に渡り約300人の高度医療専門人材を輩出しています。現在は独自プログラムとして、講義資料の配信や学内ネットワーク利用による医学雑誌の閲覧等の付帯サービスをより充実させています。また、文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定され、厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」対象講座に指定されたことにより、一定の条件を満たせば受講費用の最大70%が給付されます。

このコースでは、これからのリハビリテーション専門職が知識として修得しておきたい内容を、eラーニングで自宅や職場に居ながら学ぶことができます。生活期の疾病対応はもちろん、人生の最終段階における医療、社会動向の理解、社会資源の活用、組織マネジメント、ICTリテラシーなど俯瞰的なプログラム内容です。



樋口 由美 教授

【本件に関するお問い合わせ】

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科
担当：樋口 由美 教授
TEL：072-950-2973
Email: gr-reha-cbr@omu.ac.jp

【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課
担当：塩根 春華
TEL：06-6605-3411
Email:k21592e@omu.ac.jp

■コース概要

「地域リハビリテーション学コース」は、理学療法士・作業療法士に加え、医師、看護師、保健師、社会福祉士、経済学者、情報ネットワークの専門家等の他職種を講師として招聘し、地域リハビリテーションを実践するために必要な幅広い知識を補填することを目的としています。内容は、働きながらも受講しやすいeラーニング講義（全9講座・106時間）と、在宅ケアの最前線で活躍されている講師による年3回のスクーリング（14時間）計120時間で構成しています。

本コースの受講生は、1年間の受講期間中に受講生同士の交流を図りながら高い実践能力と指導能力を身につけることができます。また、修了生には履修証明書が本学学長から交付されます。

■プログラムの社会に対する貢献

受講を通じて病院と在宅ケアの連携に必要な知識や技術を習得し、地域包括ケアシステムにおいて活躍できる理学療法士・作業療法士を育成します。在宅リハビリテーション技術に加え、病院と在宅ケアの連携を理解し、推進することのできる高い実践能力と指導能力を有する人材が増えることで、地域における医療と在宅ケアのネットワーク化が促進されます。

■履修証明プログラムとは

履修証明プログラムとは社会人等の方々を対象とした特別の教育課程です。本学の教育・研究資源を活かした教育プログラムで、プログラムの修了者には、学校教育法第105条の規定に基づく「履修証明書」を交付します。

■参考 URL

大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」
応募要項につきましてはこちらをご参照ください。

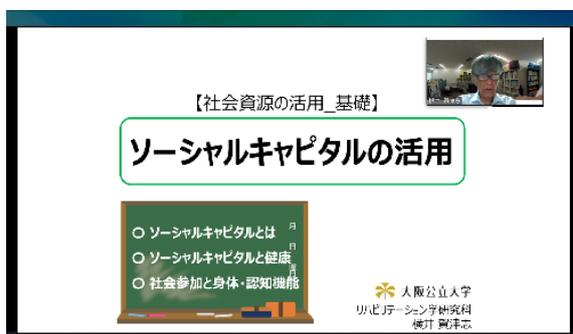
<https://www.omu.ac.jp/reha/core/>

文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）認定制度について」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/

厚生労働省「教育訓練給付制度」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html



eラーニング講義動画の一例



スクーリングの様子（過去の講座）